#### 第一生命「サラリーマン川柳」20周年記念

# これまでの入選作品に登場した「単語」から見る世相の変遷 2,597句に登場する「単語」を分析

#### 調査概要

1987年から開始した「サラリーマン川柳コンクール」が今年で20周年を迎えました。第1回から第20回の入選作品、計2,597句に登場した「単語」を分析し、この20年の世相の変遷を調査しました。

次ページ以降で「単語でみる『サラ川20年』の分析」をまとめています。

これは第1回(1987年)から第20回(2006年)の全入選作品を対象にどのような単語が何回使われたかを調べたもので、20年間通しての「総登場回数ランキング」、「毎年の登場回数ランキング」としてまとめています。なお、「毎年の登場回数ランキング」については、「その年の出来事や社会現象」についても合わせて掲載しています。

## (1) 20年間の総登場回数ランキング(上位40単語)

サラ川に圧倒的存在を見せる「妻」 ~ 20年通して堂々のトップ~ 最多登場ワードは「妻」(150回)、2位は「子」(105回)、 「上司」(4位)「部下」(9位)など会社ネタも上位にランキング

## (2) 登場単語 20年の変遷

92年から95年までは上位を「妻」「子」が独占 iモードが登場した99年には「携帯」が初登場。「メール」の登場回数も増加。 景気減退の時期は、「上司」「部下」「ボーナス」「課長」など会社ネタが減少 最近、「上司」「部下」など会社ネタが上位に復活の動き

詳細は次頁以降をご参照ください。

### 分析結果

## (1)20年間の総登場回数ランキング(上位40単語)

この20年間のサラリーマン川柳で最も多く登場した言葉は「妻」で登場回数は150回、2位以下を大き く引き離して堂々のトップです。サラリーマンにとって「妻」は、常に川柳のテーマになる存在のようです。

次いで2位「子」(105回)、3位「言う」(100回)、4位「上司」(83回)が続きます。

2位の「子」のほかに「娘」も14位にあげられており、愛すべき存在でありながら、ままならぬ存在でもある妻や子に、つい一言、という姿が浮かび上がります。

仕事関連では「上司」のほか、「部下」(9位)、「会社」(11位)が上位にランクされており、職場の出来事も多く詠まれています。

「携帯」(16位)、「メール」(24位)、「パソコン」(37位)などは比較的最近登場したにもかかわらず、ランクインしており、IT グッズはサラリーマン生活に大きなインパクトを与えたようです。

#### 20年間の総登場回数ランキング(上位40単語)

順位	単語	回数
1位	妻	150
2位	子	105
3位	言う	100
4位	上司	83
5位	俺	53
6 位	見る	51
	今	
8位	聞〈	44
9位	我が家	36
	部下	
11位	会社	34
12位	昔	33
	父	
14位	娘	31
	良い	
16位	やる	30
	携帯	
18位	ない	29
19位	出る	28
20位	帰る	27
	知る	

順位	単語	回数
22位	家	26
	出す	
2 4 位	ボーナス	25
	メール	
	気	
	買う	
28位	する	23
	) <b>%</b> )%	
	課長	
	仕事	
	来る	
33位	顔	22
3 4 位	つく	21
	電話	
	目	
3 7 位	パソコン	20
	ママ	
3 9 位	呼ぶ	19
	日	

## (2)登場単語 20年の変遷

# 1987年から1991年 バブル崩壊で姿を消した「上司」「部下」「ボーナス」「課長」 景気減退とともに会社ネタが減少

地価高騰が始まった1987年から、トレンディドラマがブームになった91年まで、サラ川には「上司」という言葉が頻繁に登場し、毎年1位または2位にランクされていました。

しかしその後のバブルの崩壊と時を前後して92年に姿を消しています。「上司」とともにベストテンに登場していた「部下」「ボーナス」「忘年会」「課長」といった会社にまつわる言葉も影をひそめました。

景気の減速とともに、サラリーマン川柳に職場を詠ったものが少なくなったようです。

# 1992年から1995年

### 「妻」・「子」が上位独占

TVドラマをきっかけにマザコンの "冬彦さん" が話題になった92年から95年までは「妻」と「子」が1位、2位の座を独占します。

「妻」と「子」は常に上位にランクされており、特に「妻」は02年から06年の5年間についても連続で1位をキープしています。景気も流行も関係なく、サラリーマンにとって「妻」は川柳の永遠のテーマだと考えます。

# 1996年から2006年

# 「携帯」普及当初(00年、01年)は恰好のサラ川ネタ 「上司」「部下」復活の兆し

97年:GDPマイナス成長、98年:失業率急上昇、00年:格差社会論争と景気低迷が続くなか、iモードが登場した99年、サラリーマン川柳にも「携帯」が初登場。その後「メール」の登場回数も増えてきます。

「携帯」は、00年、01年と2年にわたり2位にランクされ、悲喜こもごもの携帯ネタが詠まれた様子です。 しかしその後は必需品としてみんなが使いこなし、話題にならなくなったのか、近年(05年、06年)はベスト10には登場していません。

近年、職場生活より家庭生活を題材にした作品が目立っていましたが、02年「上司」が2位に浮上、03年 も3位に食い込むなど、職場生活を呼んだ作品も復活傾向となっています。

#### 05年は流行語「フォー」「チルドレン」も登場

05年は流行語が目につきました。「フォー」(7位)、「ウォームビズ」「チルドレン」「刺客」(9位)など、お笑いブームや時事ネタを反映したキーワードがサラ川にも登場しています。

# 登場回数ペストテン~この20年の変遷~

・その年の出来事、 社会現象など

第1回 1987年			
順位	単語 回数		
1位	上司	9	
2位	言う	5	
	部下		
	ボーナス		
5位	妻	4	
6位	忘年会	3	
	会社		
	子		
	酒		
10位	ハリコン(2)	やる(2)	
	課長(2)	ワープロ(2)	
	家(2)	顏(2)	
	今日(2)	出る(2)	
	出す(2)	声(2)	
	無礼講(2)	亭主(2)	
	良い(2)	日(2)	
	カラオケ(2)	部長(2)	
	ひとつ(2)		

第2回 1988年				
順位	単語	回数		
1位	上司	10		
2位	妻	5		
	ボーナス			
	子			
5位	言う	4		
6位	忘年会	3		
	部下			
	酒			
	見る			
10位	知る(2)	家(2)		
	帰る(2)	課長(2)		
	マイホーム(2)	顔(2)		
	仕事(2)	出す(2)		
	日(2)	良い(2)		
	<b>ワープロ</b> (2) 娘(2)			

第3回 1989年			
順位	単語	回数	
1位	上司	9	
2位	妻	7	
3位	子	5	
4位	マイホーム	4	
	課長		
	単身		
7位	オバタリアン	3	
	サンタ		
	我が家		
	出す		

第4回 1990年			
順位	単語	回数	
1位	子	8	
2位	上司	7	
3位	見る	6	
	言う		
	妻		
6位	部下	5	
7位	土地	4	
8位	ギャル(3)	仕事(3)	
	コードレス(3)	出す(3)	
	ファジー(3)	単身(3)	
	マイホーム(3)	知る(3)	
	課長(3)	電話(3)	
	帰る(3)	聞((3)	

舅	5回 1991	年
順位	単語	回数
1位	子	8
2位	上司	7
3位	言う	5
	妻	
5位	<b>と</b> る	4
	課長	
7位	俺	3
	会議中	
	手	
	知らない	
	夫	
	娘	

- ・地価高騰
- ・PC98シリーズ 100万台突破
- ・リクルート事件 ・オバタリアン
- ・ねるとん紅鯨団
- ・消費税導入
- ・転職情報誌創刊 ・オヤジギャル
- ・ドイツ統一
- ・イタメシブーム
- ・大学入試センター 試験開始
- ・ソ連崩壊
- ・若貴相撲人気
- ・トレンディドラ マブーム

第6回 1992年			
順位	普	回数	
1位	子	7	
2位	妻	5	
3位	出世	4	
	いる		
5位	カラオケ	3	
	粉家		
	出る		
	穻主		
	売る		
	目		
	立つ		

- ・P K O協力法案 ・T V ドラマの冬彦 さん
- 第7回 1993年 単語 順位 回数 1位 妻 9 2位 子 6 3位 見る 4 4位 聞〈 4 5位 名前 4 6位 あと 3 バブル 飲み 言う 今 翻 父 僕 頼む

•	J	IJ.	- !	ブ関	幕

第8回 1994年				
順位	順位 単語			
1位	子	7		
2位	妻	5		
3位	ン	4		
	会社			
	水			
	無り			
7位	持つ	3		
	酒			
	親			
	知る			
	買う			
	聞〈			
	娘			

- · 就職氷河期到来 ¦
  - ・イチロー人気

第9回 1995年				
順位		単語	回數	
1位		子	7	
2位		妻	5	
3位		言う	4	
		部下		
5位	ダ	イエット	3	
	1	まめる		
		酒		
		日		
9位		うち(2)	おまえ(2)	
カーナ	ť (2)	かせぐ(2)	たま(2)	
.	<b>つ</b> 〈(2)	つける(2)	どこ(2	
ビー	-Jレ(2)	ボーナス(2)	ローン(2)	
食	な(2)	下(2)	気(2	
起	きる(2)	呼ぶ(2)	座る(2	
1⊟	事(2)	思う(2)	出す(2)	
笑う(2)		上司(2)	寝る(2	
水(2)		前(2)	痩せる(2)	
太る(2)			低金利(2	
日曜日(2)		抜き(2)	風邪(2	
片手(2)		母(2)	忘れる(2)	
忘年	会(2)	目(2)		

- ・阪神淡路大震災
- ・地下鉄サリン事件
- ・Windows95 発売

第	第10回 1996年			
順位	単語	回数		
1位	妻	8		
2位	言う	7		
3位	使う	6		
4位	やる	4		
	見る			
	子			
7位	おまえ	3		
	コンビニ			
	パソコン			
	孫			
	父			
	来る			

・薬害エイズ問題 ・ルーズソックス ブーム

第11回 1997年		
順位	<b>単語</b>	回数
1位	見る	9
2位	妻	7
3位	俺	4
	粉家	
5位	韵	3
	今	
	子	
	昔	
	聞	
	目	

・G D P 2 3 年ぶり ¦ マイナス成長 ・たまごっちブーム

第12回 1998年		
順位	単語	回数
1位	言う	9
2位	妻	7
3位	子	5
4位	メール	4
	俺	
	出る	
7位	ない	3
	)\%	
	ワイン	
	会社	
	見る	
	思う	
	切れる	
	待つ	
	聞〈	

第13回 1999年 順位 単語 1位 妻 2位 会社 言う 4位 子 5位 おやじ 買う 7位 つける(3) 出す(3) パソコン(3) 上司(3) ママ(3) メール(3) 俺(3) 我が家(3) 知る(3) 携帯(3) 着如(3) 今(3) 辞める(3) 来る(3)

第14回 2000年		
順位	単語	回数
1位	猒	7
2位	携帯	6
	言う	
	子	
5位	妻	5
6位	金	4
	上司	
	知らない	
	父	
10位	おやじ(3) 我	<b>が家</b> (3)
	メール(3)	今(3)
	やる(3)	昔(3)
	俺(3)	返事(3)
	家(3)	良 (3)

回数

7

6

5

昔(3)

前(3)

誰(3)

夢(3)

第15回 2001年 順位 単語 回数 1位 今 6 2位 携帯 5 妻 聞〈 言う 5位 4 子 出る ゴミ 8位 3 メール 俺 我が家 呼ぶ 上司 昔 来る

・失業率急上昇

・ i モード登場 ・アイボ発売

- ・西暦2000年 問題
- ・格差社会論争
- ・IT革命
- ・米国同時多発テロ
- ・BSE騒動

順位

1位

2位

3位

5位

・2足歩行ロボット 登場

第20回 2006年

単語

妻

俺

帰

韵

炒ボ

子 声 前 孫 윺 部下

回数

14

6

4

3

# 第16回 2002年

順位	普語	回数
1位	妻	9
2位	子	7
	上司	
4位	韵	6
5位	ない	5
	見る	
	今	
8位	うち	4
	メール	
	猒	

・田中耕一氏ノーベル 化学賞受賞 ・「丸ビル」リニュー アルオープン

第17回 2003年		
順位	譜	回数
1位	妻	9
2位	子	6
3位	700	5
	訡	
	今	
	上司	
	父	
8位	メール	4
	昔	
10位	रर	3
	新	
	携帯	
	見る	
	辞める	
	出る	
	母	

・「六本木ヒルズ」オ ープン ¦・ヨン様ブーム ¦

003		
	回数	
	9	
	6	
	5	
,	4	
5	3	

第18回 2004年		
順位	丰語	回数
1位	妻	11
2位	韵	9
3位	俺	6
4位	携帯	5
	子	
6位	な	4
	上司	
	父	
9位	ない(3)	昔(3)
	我协家(3)	<del>息了</del> (3)
	君(3)	電話(3)
	今(3)	猒(3)
	財布(3)	目(3)
	仕事(3)	

・新潟中越地震 ・自衛隊イラク派遣

第19回 2005年		
順位	単語	回数
1位	妻	17
2位	俺	9
	言う	
4位	今	8
5位	昔	6
6位	家	5
7位	フォー	4
	り。身	
9位	ウォームピス	3
	チルドレン	
	気	
	刺客	
	年金	
	部下	
	娘	

・脳年齢

- ・郵政総選挙
- ・愛・地球博
- ・クールビズ

・イナバウアー

#### <実施概要>

分析対象

第1回から第20回(1987~2006年度)までの応募作品から、各年度に優秀100選に選ばれた代表句を対象とした。ただし、作者からのお申し出により削除させていただいた句は分析対象から除外している。また、第1回・第2回は「100選」を選出していないため、優秀作品799句(第1回300句・第2回499句)を分析対象とした。

対象句数 2,597句

## <分析手法>

- ・ 対象とした2,597句に登場する単語をすべて抽出し、各回毎に集計を行った。
- ・ 抽出・集計にあたっては、単語をできるだけそのままの形で集計したが、「無い」と「ない」などのように、表現の違いについては同一のものとしてカウントした。
- ・ 第1回·第2回については、集計を行ったあとで、それぞれを句数で割り、100 句への換算を行った。

以上